

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2023年10月25日まで（2013年7月11日設定）	
運用方針	<p>短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券への投資を通じて、ロシアルーブル建ての短期公社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p> <p>デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要運用対象	ベビーフンド	短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

### 短期ロシアルーブル債オープン （毎月分配型）



第101期（決算日：2021年11月25日）  
 第102期（決算日：2021年12月27日）  
 第103期（決算日：2022年1月25日）  
 第104期（決算日：2022年2月25日）  
 第105期（決算日：2022年3月25日）  
 第106期（決算日：2022年4月25日）



#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）」は、去る4月25日に第106期の決算を行いましたので、法令に基づいて第101期～第106期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



### 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
 フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率 率	債 先 物 比	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落				
	円		円		%	%	%	百万円
77期(2019年11月25日)	5,824		30		0.8	95.2	—	1,019
78期(2019年12月25日)	6,060		30		4.6	91.4	—	976
79期(2020年1月27日)	6,007		30	△ 0.4		93.9	—	946
80期(2020年2月25日)	5,851		30	△ 2.1		94.5	—	915
81期(2020年3月25日)	4,825		30	△17.0		93.5	—	758
82期(2020年4月27日)	4,958		30		3.4	92.6	—	782
83期(2020年5月25日)	5,190		30		5.3	93.1	—	834
84期(2020年6月25日)	5,295		30		2.6	93.2	—	853
85期(2020年7月27日)	5,123		20	△ 2.9		93.0	—	829
86期(2020年8月25日)	4,903		20	△ 3.9		94.6	—	796
87期(2020年9月25日)	4,687		20	△ 4.0		93.8	—	754
88期(2020年10月26日)	4,724		20		1.2	93.9	—	759
89期(2020年11月25日)	4,751		20		1.0	92.7	—	752
90期(2020年12月25日)	4,770		20		0.8	91.0	—	745
91期(2021年1月25日)	4,696		20	△ 1.1		94.7	—	723
92期(2021年2月25日)	4,889		20		4.5	95.3	—	728
93期(2021年3月25日)	4,768		20	△ 2.1		94.3	—	701
94期(2021年4月26日)	4,830		20		1.7	93.6	—	695
95期(2021年5月25日)	4,947		20		2.8	93.8	—	711
96期(2021年6月25日)	5,072		20		2.9	93.9	—	718
97期(2021年7月26日)	4,958		20	△ 1.9		93.3	—	696
98期(2021年8月25日)	4,927		20	△ 0.2		93.3	—	692
99期(2021年9月27日)	5,000		20		1.9	93.7	—	682
100期(2021年10月25日)	5,251		20		5.4	92.6	—	698
101期(2021年11月25日)	4,983		20	△ 4.7		92.5	—	643
102期(2021年12月27日)	5,093		20		2.6	93.7	—	644
103期(2022年1月25日)	4,611		20	△ 9.1		92.1	—	585
104期(2022年2月25日)	4,093		20	△10.8		90.9	—	521
105期(2022年3月25日)	426		0	△89.6		—	—	53
106期(2022年4月25日)	357		0	△16.2		—	—	44

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
第101期	(期 首) 2021年10月25日	円 5,251		% —	% 92.6		% —
	10月末	5,218	△ 0.6		93.0		—
	(期 末) 2021年11月25日	5,003	△ 4.7		92.5		—
第102期	(期 首) 2021年11月25日	4,983		—	92.5		—
	11月末	4,932	△ 1.0		92.0		—
	(期 末) 2021年12月27日	5,113	2.6		93.7		—
第103期	(期 首) 2021年12月27日	5,093		—	93.7		—
	12月末	5,109	0.3		88.6		—
	(期 末) 2022年1月25日	4,631	△ 9.1		92.1		—
第104期	(期 首) 2022年1月25日	4,611		—	92.1		—
	1月末	4,713	2.2		91.0		—
	(期 末) 2022年2月25日	4,113	△10.8		90.9		—
第105期	(期 首) 2022年2月25日	4,093		—	90.9		—
	2月末	3,737	△ 8.7		88.1		—
	(期 末) 2022年3月25日	426	△89.6		—		—
第106期	(期 首) 2022年3月25日	426		—	—		—
	3月末	445	4.5		—		—
	(期 末) 2022年4月25日	357	△16.2		—		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

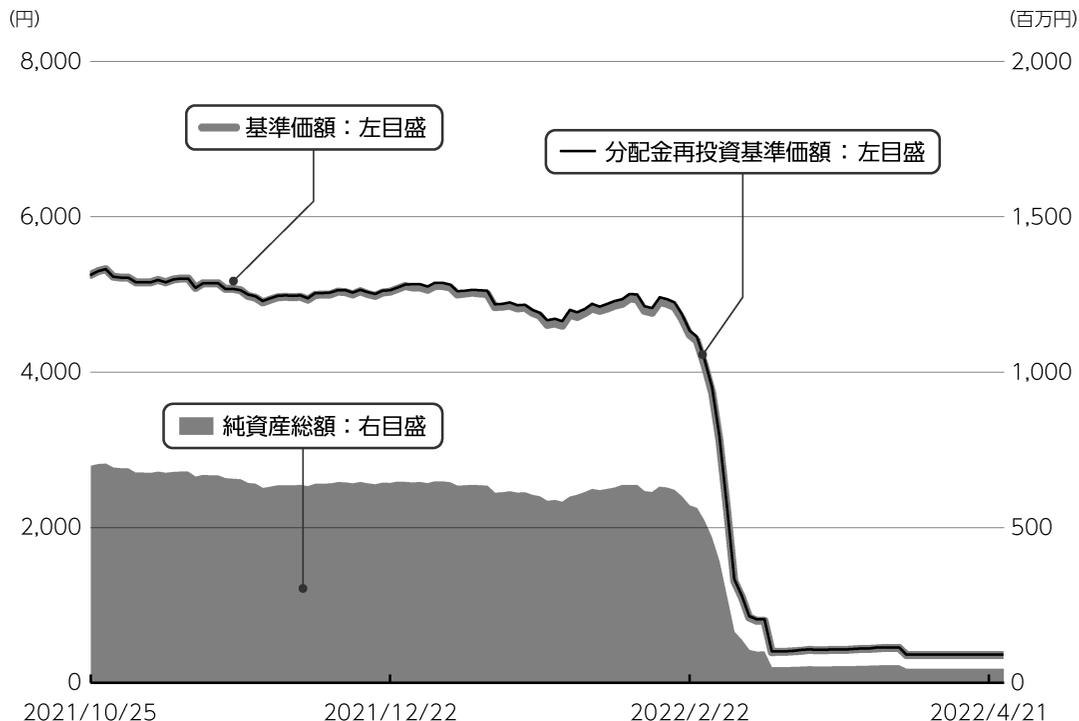
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第101期～第106期：2021年10月26日～2022年4月25日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第101期首	5,251円
第106期末	357円
既払分配金	80円
騰落率	-93.1%
	（分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ93.1%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

## ▶ 基準価額の主な変動要因

### 下落要因

ロシア国債の価格が大幅に下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第101期～第106期：2021年10月26日～2022年4月25日

## 投資環境について

### ▶ 債券市況

ロシアの債券市場では、ロシア国債の価格が下落しました。

2022年2月下旬以降、ロシアのウクライナ侵攻を受けた欧米諸国によるロシアへの経済制裁やそれに対するロシアの対抗措置に伴い、ロシア市場の流動性が著しく悪化したことなどを背景に、ロシア国債の価格は大幅に下落しました。

### ▶ 為替市況

ロシアルーブルは対円で上昇しました。

ロシア市場の流動性悪化などを背景に、2022年2月下旬から3月上旬にかけて、ロシアルーブルは対円で大幅に下落しました。しかし、ロシア政府が導入した資本取引規制による国際収支の改善などを背景に、その後、ロシアルーブルは対円で大きく上昇に転じたため、作成期を通じてみると、ロシアルーブルは対円で上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）

短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券への投資を通じてロシアルーブル建ての短期公社債に実質的な投資をしました。

### ▶ 短期ロシアルーブル債マザーファンド

ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とし、作成期を通じて残存期間3年以内のロシアルーブル建て国債（当該債券）を中心に組み入れました。

ロシア市場の流動性悪化などを背景に、当該債券評価入手先の主力価格情報会社による価格算出が不可となったことなどを受け、2022年3月10日以降、組入債券の評価価格をゼロとしています。当該債券の一部において、利息が本来の支払期日から30日を超過しても支払われない状況が発生し、当該債券の利息を受け取る見込みが立たないことを受けて、2022年4月6日以降は、組入債券に関して保有期間に応じて日々計上している未収利息の評価をゼロとしています。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第101期 2021年10月26日～ 2021年11月25日	第102期 2021年11月26日～ 2021年12月27日	第103期 2021年12月28日～ 2022年1月25日	第104期 2022年1月26日～ 2022年2月25日	第105期 2022年2月26日～ 2022年3月25日	第106期 2022年3月26日～ 2022年4月25日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 (0.400%)	20 (0.391%)	20 (0.432%)	20 (0.486%)	— (—%)	— (—%)
当期の収益	20	20	19	19	—	—
当期の収益以外	—	—	0	0	—	—
翌期繰越分配対象額	2,577	2,585	2,585	2,585	2,603	2,603

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ **短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）**  
短期ロシアルーブル債マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

▶ **短期ロシアルーブル債マザーファンド**  
欧米諸国によるロシアへの経済制裁などを背景に、ロシア市場の状況は流動的で見通すことは極めて困難なため、動向を注視しながら適切に運用を行う方針です。

2021年10月26日～2022年4月25日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第101期～第106期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	24	0.680	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(10)	(0.274)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(14)	(0.384)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.017	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.014)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	25	0.697	

作成期中の平均基準価額は、3,550円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

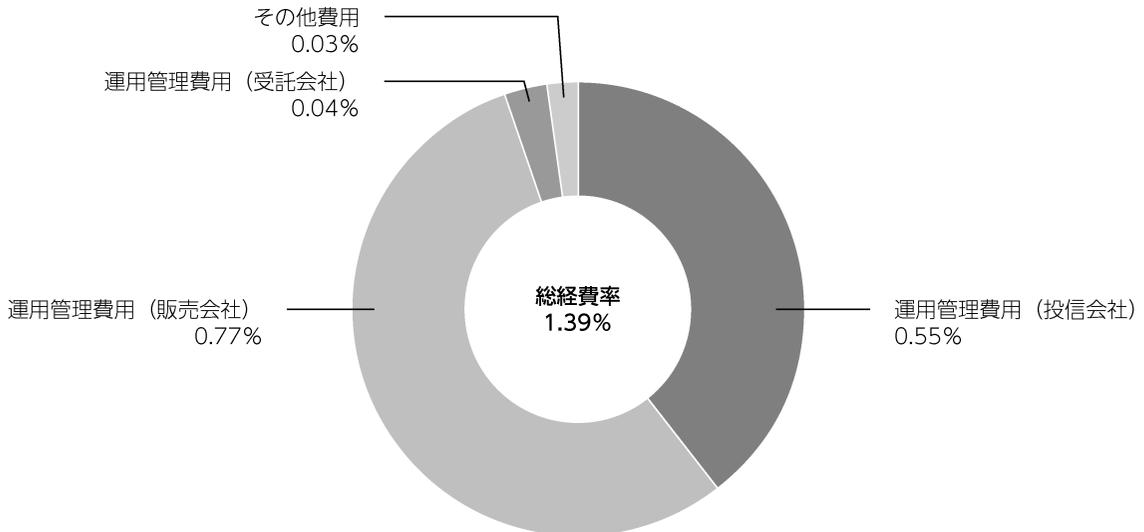
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.39%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2021年10月26日～2022年4月25日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第101期～第106期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
短期ロシアルーブル債マザーファンド	千口 35,143	千円 25,848	千口 82,992	千円 75,713

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年10月26日～2022年4月25日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;短期ロシアルーブル債オープン（毎月分配型）&gt;

該当事項はございません。

&lt;短期ロシアルーブル債マザーファンド&gt;

区 分	第101期～第106期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	うち利害関係人 との取引状況D	D C		
為替直物取引	百万円 44	百万円 —	% —	百万円 128	百万円 10	% 7.8

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2022年4月25日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	第100期末	第106期末	
	口 数	口 数	評 価 額
短期ロシアルーブル債マザーファンド	千口 697,284	千口 649,434	千円 44,681

## ○投資信託財産の構成

(2022年4月25日現在)

項 目	第106期末	
	評 価 額	比 率
短期ロシアルーブル債マザーファンド	千円 44,681	% 99.6
コール・ローン等、その他	162	0.4
投資信託財産総額	44,843	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末
	2021年11月25日現在	2021年12月27日現在	2022年1月25日現在	2022年2月25日現在	2022年3月25日現在	2022年4月25日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	650,496,355	653,475,342	588,582,564	528,249,601	53,513,198	44,843,002
コール・ローン等	2,587,822	2,198,806	2,231,600	3,451,869	280,367	156,874
短期ロシアルーブル債マザーファンド(評価額)	641,438,454	642,945,303	583,833,502	520,057,798	53,221,686	44,681,104
未収入金	6,470,079	8,331,233	2,517,462	4,739,934	11,145	5,024
(B) 負債	7,485,718	8,999,549	3,286,405	6,802,248	163,409	56,630
未払収益分配金	2,580,567	2,530,678	2,538,595	2,548,072	—	—
未払解約金	4,118,570	5,700,588	63,376	3,542,178	—	—
未払信託報酬	783,933	765,699	682,131	709,606	162,867	56,449
未払利息	2	1	1	—	—	—
その他未払費用	2,646	2,583	2,302	2,392	542	181
(C) 純資産総額(A-B)	643,010,637	644,475,793	585,296,159	521,447,353	53,349,789	44,786,372
元本	1,290,283,612	1,265,339,104	1,269,297,648	1,274,036,251	1,253,411,772	1,253,411,772
次期繰越損益金	△ 647,272,975	△ 620,863,311	△ 684,001,489	△ 752,588,898	△ 1,200,061,983	△ 1,208,625,400
(D) 受益権総口数	1,290,283,612口	1,265,339,104口	1,269,297,648口	1,274,036,251口	1,253,411,772口	1,253,411,772口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,983円	5,093円	4,611円	4,093円	426円	357円

## ○損益の状況

項 目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
	2021年10月26日～ 2021年11月25日	2021年11月26日～ 2021年12月27日	2021年12月28日～ 2022年1月25日	2022年1月26日～ 2022年2月25日	2022年2月26日～ 2022年3月25日	2022年3月26日～ 2022年4月25日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 59	△ 47	△ 14	△ 27	△ 1	—
受取利息	—	—	1	—	—	—
支払利息	△ 59	△ 47	△ 15	△ 27	△ 1	—
(B) 有価証券売買損益	△ 31,174,372	17,201,571	△ 57,805,871	△ 63,396,311	△ 458,485,689	△ 8,506,787
売買益	369,936	17,482,566	87,593	714,962	△ 990	1,075
売買損	△ 31,544,308	△ 280,995	△ 57,893,464	△ 64,111,273	△ 458,484,699	△ 8,507,862
(C) 信託報酬等	△ 786,579	△ 768,282	△ 684,433	△ 711,998	△ 163,409	△ 56,630
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 31,961,010	16,433,242	△ 58,490,318	△ 64,108,336	△ 458,649,099	△ 8,563,417
(E) 前期繰越損益金	△ 75,210,771	△ 106,946,140	△ 92,237,522	△ 147,909,672	△ 208,971,431	△ 667,620,530
(F) 追加信託差損益金	△ 537,520,627	△ 527,819,735	△ 530,735,054	△ 538,022,818	△ 532,441,453	△ 532,441,453
(配当等相当額)	( 303,682,192)	( 298,003,769)	( 299,292,866)	( 301,551,637)	( 297,007,428)	( 297,015,322)
(売買損益相当額)	(△ 841,202,819)	(△ 825,823,504)	(△ 830,027,920)	(△ 839,574,455)	(△ 829,448,881)	(△ 829,456,775)
(G) 計(D+E+F)	△ 644,692,408	△ 618,332,633	△ 681,462,894	△ 750,040,826	△ 1,200,061,983	△ 1,208,625,400
(H) 収益分配金	△ 2,580,567	△ 2,530,678	△ 2,538,595	△ 2,548,072	0	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 647,272,975	△ 620,863,311	△ 684,001,489	△ 752,588,898	△ 1,200,061,983	△ 1,208,625,400
追加信託差損益金	△ 537,520,627	△ 527,819,735	△ 530,735,054	△ 538,022,818	△ 532,441,453	△ 532,441,453
(配当等相当額)	( 303,694,764)	( 298,016,640)	( 299,319,216)	( 301,615,607)	( 297,015,322)	( 297,015,322)
(売買損益相当額)	(△ 841,215,391)	(△ 825,836,375)	(△ 830,054,270)	(△ 839,638,425)	(△ 829,456,775)	(△ 829,456,775)
分配準備積立金	28,824,377	29,168,744	28,830,011	27,818,230	29,354,255	29,354,255
繰越損益金	△ 138,576,725	△ 122,212,320	△ 182,096,446	△ 242,384,310	△ 696,974,785	△ 705,538,202

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 1,329,404,224円  
 作成期中追加設定元本額 95,054,360円  
 作成期中一部解約元本額 171,046,812円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.0357円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,208,625,400円です。

## ③ 分配金の計算過程

項 目	2021年10月26日～ 2021年11月25日	2021年11月26日～ 2021年12月27日	2021年12月28日～ 2022年1月25日	2022年1月26日～ 2022年2月25日	2022年2月26日～ 2022年3月25日	2022年3月26日～ 2022年4月25日
費用控除後の配当等収益額	2,960,798円	3,612,044円	2,452,557円	2,543,915円	2,261,365円	—円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	303,694,764円	298,016,640円	299,319,216円	301,615,607円	297,015,322円	297,015,322円
分配準備積立金額	28,444,146円	28,087,378円	28,916,049円	27,822,387円	27,092,890円	29,354,255円
当ファンドの分配対象収益額	335,099,708円	329,716,062円	330,687,822円	331,981,909円	326,369,577円	326,369,577円
1万口当たり収益分配対象額	2,597円	2,605円	2,605円	2,605円	2,603円	2,603円
1万口当たり分配金額	20円	20円	20円	20円	—円	—円
収益分配金金額	2,580,567円	2,530,678円	2,538,595円	2,548,072円	—円	—円

## ○分配金のお知らせ

	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
1万円当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	0円	0円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

## 【お知らせ】

①ロシアのウクライナ侵攻を受けた米欧の経済制裁やそれに対抗措置をロシアが設けたことにより、取引の規制、決済機構やSWIFTからの除外による取引後の受渡が行えない状況となったほか、利金や償還金の受取制限などが掛かり、市場でのロシア国債等の取引が成立しない状況となったため、ロシアルーブル建て債券（以下、「当該債券」）の評価価格において、組入債券評価の入手先として定めている主力価格情報会社が2022年3月9日より算出不可となり、さらには、ロシアへの経済制裁等の影響に伴い、当該債券は市場において売買および決済が行われておらず、ロシアルーブルの日本円への換金の見込みは立っておりません。

これを受け、当ファンドが組み入れている当該債券において、2022年3月10日以降、組入債券の評価価格をゼロとすることといたしました。（2022年3月10日時点）

また、当該債券の一部において、利息が本来の支払期日から30日を超過しても支払われない状況が発生し、当該債券の利息を受け取る見込みが立たないことを受けて、4月6日以降は、組入債券に関して支払期日を迎えた利息および保有期間に応じて日々計上している未収利息を引き落としました。

（2022年4月6日時点）

なお、最新の情報については、当社HP（<https://www.am.mufg.jp/>）をご確認ください。

②当ファンドの決算日（2022年4月25日）時点においては、ロシア情勢緊迫化に伴い、設定・解約のお申込み受付を停止しております。なお、最新の情報については、当社HP（<https://www.am.mufg.jp/>）をご確認ください。

## 短期ロシアルーブル債マザーファンド

《第18期》決算日2022年4月25日

[計算期間：2021年10月26日～2022年4月25日]

「短期ロシアルーブル債マザーファンド」は、4月25日に第18期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第18期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	<p>ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。</p> <p>投資にあたっては、ロシアの国債、政府機関債等ならびにロシアルーブル建ての国際機関債に投資を行います。</p> <p>投資する公社債の残存年数は3年未満とします。</p> <p>金利や物価の動向、経済情勢や投資環境等を勘案してポートフォリオを構築します。</p> <p>デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。</p> <p>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主 要 運 用 対 象	ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
14期(2020年4月27日)	8,554	△11.2		92.8	—	780
15期(2020年10月26日)	8,435	△1.4		94.2	—	757
16期(2021年4月26日)	8,905	5.6		93.8	—	694
17期(2021年10月25日)	9,988	12.2		92.9	—	696
18期(2022年4月25日)	688	△93.1		—	—	44

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
				騰	落			
	(期 首)	2021年10月25日	円 9,988		% —		% 92.9	% —
	10月末		9,926	△	0.6		93.2	—
	11月末		9,429	△	5.6		92.2	—
	12月末		9,818	△	1.7		88.9	—
	2022年1月末		9,103	△	8.9		91.3	—
	2月末		7,248	△	27.4		88.5	—
	3月末		857	△	91.4		—	—
	(期 末)	2022年4月25日	688	△	93.1		—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

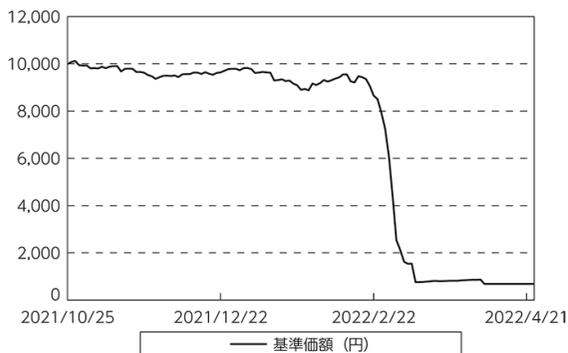
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ93.1%の下落となりました。

基準価額等の推移



## ●基準価額の主な変動要因

## (下落要因)

- ・ロシア国債の価格が大幅に下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

## ●投資環境について

## ◎債券市況

- ・ロシアの債券市場では、ロシア国債の価格が下落しました。  
2022年2月下旬以降、ロシアのウクライナ侵攻を受けた欧米諸国によるロシアへの経済制裁やそれに対するロシアの対抗措置に伴い、ロシア市場の流動性が著しく悪化したことなどを背景に、ロシア国債の価格は大幅に下落しました。

## ◎為替市況

- ・ロシアルーブルは対円で上昇しました。  
ロシア市場の流動性悪化などを背景に、2022年2月下旬から3月上旬にかけて、ロシアルーブルは対円で大幅に下落しました。しかし、ロシア政府が導入した資本取引規制による国際収支の改善などを背景に、その後、ロシアルーブルは対円で大きく上昇に転じたため、期を通じてみると、ロシアルーブルは対円で上昇しました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ロシアルーブル建ての短期公社債を主要投資対象とし、期を通じて残存期間3年以内のロシアルーブル建て国債（当該債券）を中心に組み入れました。
- ・ロシア市場の流動性悪化などを背景に、当該債券評価入手先の主力価格情報会社による価格算出が不可となったことなどを受け、2022年3月10日以降、組入債券の評価価格をゼロとしています。
- ・当該債券の一部において、利息が本来の支払期日から30日を超過しても支払われない状況が発生し、当該債券の利息を受け取る見込みが立たないことを受けて、2022年4月6日以降は、組入債券に関して保有期間に応じて日々計上している未収利息の評価をゼロとしています。

## ○今後の運用方針

- ・欧米諸国によるロシアへの経済制裁などを背景に、ロシア市場の状況は流動的で見通すことは極めて困難なため、動向を注視しながら適切に運用を行う方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2021年10月26日～2022年4月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	円 1 (1)	% 0.014 (0.014)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	1	0.014	
期中の平均基準価額は、6,810円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2021年10月26日～2022年4月25日)

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
外国	ロシア	国債証券	千ロシアルーブル 254,251	千ロシアルーブル 286,480

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年10月26日～2022年4月25日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 44	百万円 —	% —	百万円 128	百万円 10	% 7.8

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行です。

## ○組入資産の明細

(2022年4月25日現在)

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ロシア	千ロシアルーブル 375,000	千ロシアルーブル —	千円 —	% —	% —	% —	% —	% —
合 計	375,000	—	—	—	—	—	—	—

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) ロシアルーブル建て債券の評価価格において、組入債券評価の入手先として定めている主力価格情報会社が2022年3月9日より算出不可となったことなどから、当該債券の評価価格をゼロとしています。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ロシア		%	千ロシアルーブル	千ロシアルーブル	千円		
	国債証券	7.0	124,000	—	—	2023/8/16	
		7.1	169,000	—	—	2024/10/16	
		7.4	82,000	—	—	2024/7/17	
合 計					—		

## ○投資信託財産の構成

(2022年4月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 44,667	% 100.0
投資信託財産総額	44,667	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年4月25日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	44,667,576
コール・ローン等	44,667,576
(B) 負債	5,039
未払解約金	5,024
未払利息	15
(C) 純資産総額(A-B)	44,662,537
元本	649,434,665
次期繰越損益金	△604,772,128
(D) 受益権総口数	649,434,665口
1万口当たり基準価額(C/D)	688円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 697,284,436円  
 期中追加設定元本額 35,143,159円  
 期中一部解約元本額 82,992,930円  
 また、1口当たり純資産額は、期末0.0688円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

短期ロシアルーブル債オープン(毎月分配型) 649,434,665円

③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は604,772,128円です。

## ○損益の状況 (2021年10月26日～2022年4月25日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	7,321,706
受取利息	7,322,674
支払利息	△ 968
(B) 有価証券売買損益	△609,152,626
売買益	45,763,782
売買損	△654,916,408
(C) 保管費用等	△ 64,744
(D) 当期損益金(A+B+C)	△601,895,664
(E) 前期繰越損益金	△ 861,497
(F) 追加信託差損益金	△ 9,294,524
(G) 解約差損益金	7,279,557
(H) 計(D+E+F+G)	△604,772,128
次期繰越損益金(H)	△604,772,128

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## 【お知らせ】

ロシアのウクライナ侵攻を受けた米欧の経済制裁やそれに対抗措置をロシアが設けたことにより、取引の規制、決済機構やSWIFTからの除外による取引後の受渡が行えない状況となったほか、利金や償還金の受取制限などが掛かり、市場でのロシア国債等の取引が成立しない状況となったため、ロシアルーブル建て債券(以下、「当該債券」)の評価価格において、組入債券評価の入手先として定めている主力価格情報会社が2022年3月9日より算出不可となり、さらには、ロシアへの経済制裁等の影響に伴い、当該債券は市場において売買および決済が行われておらず、ロシアルーブルの日本円への換金の見込みは立っておりません。

これを受け、当ファンドが組み入れている当該債券において、2022年3月10日以降、組入債券の評価価格をゼロとすることといたしました。(2022年3月10日時点)

また、当該債券の一部において、利息が本来の支払期日から30日を超過しても支払われない状況が発生し、当該債券の利息を受け取る見込みが立たないことを受けて、4月6日以降は、組入債券に関して支払期日を迎えた利息および保有期間に応じて日々計上している未収利息を引き落としました。

(2022年4月6日時点)

なお、最新の情報については、当社HP (<https://www.am.mufg.jp/>) をご確認ください。